

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度第3回 入間市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和元年12月13日(金) 午前10時00分開会～午前11時45分閉会
開 催 場 所	入間市市民体育館 2階会議室
議 長 氏 名	斧澤靖夫
出席委員(者)氏名	斧澤靖夫、山本寛、阿佐木綿香、荒井正巳、大川順子、大空直美、 小野順治、木村恵子、齊藤武夫、櫻井輝男、富田ちとせ、正高喜吉、 松永一郎、村野裕子
欠席委員(者)氏名	塩澤榮一
説明者の職氏名	健康推進部参事兼スポーツ推進課長 齋藤忠士 スポーツ推進課主幹 今井文香、副主幹 山畑弘、主事 本田元紀
会 議 次 第 (公開)	○令和元年度 第3回入間市スポーツ推進審議会 午前10時00分～ 1 開 会 2 会長あいさつ 3 健康推進部長あいさつ 4 議 題 (1) 市スポーツ推進計画について 施策1「生涯スポーツの推進」について (2) その他 5 報告事項 (1) 令和元年度スポーツ・レクリエーション事業報告及び事 業予定について(9月～12月分) (2) 市民体育館外構改修工事概要について (3) その他 6 その他 7 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人

<p>配 布 資 料</p>	<p>〔事前配布資料〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料A 小中学生対象サークル・教室一覧 ・資料B 課外スポーツ活動における児童・生徒の公共施設利用 ・資料C 入間市スポーツ推進委員 障がい者スポーツ関係研修派遣実績 ・資料D 入間市スポーツ推進審議会委員名簿（訂正版） <p>〔当日配布資料〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度スポーツ・レクリエーション事業の報告について（9月から12月） ・入間市市民体育館 外構改修工事概要
<p>事務局職員職氏名</p>	<p>健康推進部部长 宮岡実 健康推進部次長 近藤健司 健康推進部参事兼スポーツ推進課長 齋藤忠士 スポーツ推進課主幹 今井文香、副主幹 山畑弘、 社会教育指導員 吉田誠、主事 本田元紀</p>
<p>会議録作成方法</p>	<p>要点記述</p>

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○令和元年度 第3回入間市スポーツ推進審議会
午前10時00分～

1 開 会

2 会長あいさつ

3 健康推進部長あいさつ

4 議 題

(1) 市スポーツ推進計画について

 施策1「生涯スポーツの推進」について

(2) その他

5 報告事項

(1) 令和元年度スポーツ・レクリエーション事業報告及び事業予定について(9月～12月分)

(2) 市民体育館外構改修工事概要について

(3) その他

6 その他

7 閉 会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
<p>司 会 (近藤次長)</p>	<p>委員の皆様、大変お待たせしました。</p> <p>定刻となりましたので、令和元年度第3回入間市スポーツ推進審議会を開会します。私は、本日の進行役を務めます、健康推進部の近藤と申します。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に従いまして順次進めてまいります。</p> <p>最初に、斧澤会長よりご挨拶をお願いします。</p>
<p>斧澤会長</p>	<p>(会長あいさつ)</p>
<p>司 会</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、健康推進部の宮岡部長より挨拶を申し上げます。</p>
<p>宮岡部長</p>	<p>(あいさつ)</p>
<p>司 会</p>	<p>それでは、議事に移る前に、資料の確認をさせていただきます。事前に郵送いたしました資料と当日配布資料の確認をいたします。今回会議の資料につきましては、前回資料も使用する都合により、アルファベットで番号を割り振りました。</p> <p>(事前配布・当日配布資料確認)</p> <p>なお、資料Dにつきましては、大空委員の選出基準(所属団体)欄に誤りがございましたので、訂正させていただきました。大空委員、申し訳ございませんでした。</p> <p>それでは、議事に移りますが、議事の進行につきましては、スポーツ推進審議会条例第6条第1項の規定により、斧澤会長が議長となり進行していただきますようお願いいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
斧澤会長	<p>議長を務めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様のご協力を頂き、会議がスムーズに運営されますようお願いいたします。本日の出席委員は14名です。欠席の届出は塩澤委員から出ております。よって審議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立いたします。また、会議の傍聴につきましては市公式ホームページ等で事前に周知いたしました。傍聴の希望者はありませんでしたので報告いたします。</p> <p>次に本日の会議録の署名をいただく委員を指名させていただきます。名簿順により、今回は大川委員をお願いします。</p>
斧澤会長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>まず始めに、議題(1)市スポーツ推進計画「施策1 生涯スポーツの推進」について、前回は議題メモのQ3で終わりましたので、引き続き委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。会議資料につきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>(各資料担当者より、資料A、B、Cの説明)</p>
斧澤会長	<p>只今、事務局から資料の説明と、前回の議題メモのQ1、Q2について、各委員から出たご意見のまとめの説明がありました。Q1、Q2について更にご意見やご感想はございますか。</p> <p>(各委員、意見なし)</p>
斧澤会長	<p>それでは、Q3 障がい者を対象にしたまたは含めた事業、への取り組み状況についてご意見ご感想をお願いします。</p>
事 務 局	<p>前回資料3-1の2ページ目下段をご覧ください。平成30年度に市で実施</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>した障がい者対象スポーツ事業について、障害者スポーツ大会と障害者ポッチャ体験教室・大会の2事業を掲載しておりますのでご参考ください。</p>
松永委員	<p>黒須地区体育館管理人をしているが、今まで障がい者の体育館利用は、ほとんど見受けられない。たまに車椅子でご来館される方がいるが、障がい者を対象とした事業による利用は記憶にない。施設・設備が問題なのか、対象者がいないのか、あるいは指導者がいないことが原因なのかかわからないが、我々管理人が障がい者の利用者にどんな役割を果たすべきか、どう対応すべきか勉強しなければならないと感じる。パラリンピック競技では数多くの種目があるが、現場としてはまだ普及しているかわからないので、どう対策して良いかわからないのが現状。</p>
斧澤会長	<p>まず、各委員が身近に知っている、障がい者のスポーツ・レクリエーション活動について知っている具体例があればお願いします。例えば、私は少年野球を教えていて、小学校で必修科目になっているTボールで、年3回程、障がい者と地元の少年野球の子どもたちが一緒にTボールを行う事業を13年前から実施しています。</p>
阿佐委員	<p>市外の事例ですが、バドミントンや卓球の活動の中に障がいのある方が一緒に加わるケースが見受けられる。子どもと一緒に障がいのある方が取組むと、子どもの方が大人よりも柔軟に障がいを受け入れて一緒に活動できて良いことと感じる。</p>
大空委員	<p>市に報告をしていないからかもしれないが、入間ゴールズというサッカークラブの立ち上げに、手をつなぐ親の会や市と協力して10年ほど前から携わってきた。知的・身体的障がい者や親、卒業生などが参加しており、県の大会に出て優秀な成績を収めたこともあるが、資料には特に掲載されていない。</p>

発 言 者	発 言 内 容
大空委員	また、障がい者フライングディスク大会についても、資料に掲載されていない。
斧澤会長	続けて各委員よりご意見をお願いします。
荒井委員	特別支援学校で取り組むスポーツ活動は、地域との関わりがあるものなのか。八王子では、養護学校の高校生と地元小学校と一緒にソフトボールをする取り組みが見られた。そういった活動はどこかがつなげなければできないと思うが、小中学校等で実施は可能なのか。
富田委員	私はスポーツ推進委員をしていて、市内特別支援学校の生徒が陸上競技大会の100m走への参加や、彩の森クロスカントリー大会に聴覚障害の方が参加しているのを見ているので、大会への参加受入れは行っていると思う。
齋藤委員	12月8日に開催した西武地区駅伝では、狭山特別支援学校の生徒が伴走付きで参加している。大空委員のご意見にもあったサッカーへの取り組みも見たことがあるが、非常にレベルが高いチームで、まだまだ自分たちの知らないところで多くのスポーツへの取り組みがあると感じる。また、12月15日の入間市駅伝大会では障がい者の伴走付きでの参加が予定されており、様々な場面で健常者に混ざって一緒にスポーツを楽しむ姿が見られる。
阿佐委員	入間市の体育施設では車いすの方の利用は可能か。例えば、車椅子バスケットによる施設利用は、他市では床に傷がつく事などを理由に断られることがあるが、入間市では認めているか。
事 務 局	施設管理上問題が無ければ可能です。

発 言 者	発 言 内 容
村野委員	<p>スポーツ大会やイベントの多くに誰でも参加できるとあるが、「誰でも」に障がい者が含まれているのか不安に感じる方が多いと聞く。例えば、車椅子の方が会場までの道順への配慮があったりすると参加しやすくなる。障がいの方が運営に携わって、生の意見をイベントの運営に取り入れると、より良い配慮ができるのではないかと考える。</p>
斧澤会長	<p>只今の村野委員からのご意見は、貴重なご意見という形で取り上げさせていただきます。</p>
荒井委員	<p>スポーツ以外の例だが、避難訓練で子ども用施設に高齢者を受け入れた時に、階段が多いことや、座卓で椅子が少なく辛いことなど、当日になって多くのクレームが出てはじめて配慮が必要な点を知ることがあった。誰でも受入れ可能と言いつつ、スロープや洋式トイレ等の施設設備の不十分な点について、積極的に高齢者や障がい者などに誰かがつなげてご意見を伺う機会が必要と感じた。</p>
事 務 局	<p>補足事項として、スポーツ庁策定の第2期スポーツ基本計画では、障がい者の週1回以上のスポーツ実施率19%を40%まで高めることを目標としています。現在運動していない障がい者をどうやってスポーツに結び付けられるかが大切と考えます。</p>
斧澤会長	<p>障がい者スポーツに関する議題については、今後も続けていく議題かと思えます。また、村野委員から、障がい者の方からも委員として生の意見を聞けると良いとご意見もありましたので、今後の参考とさせていただきます。</p>
事 務 局	<p>先日開催された生涯学習フェスティバルに、スポーツ推進課職員からも実行委員としてポッチャ体験のブースで参加しております。阿佐委員、村野委員も</p>

発 言 者	発 言 内 容
事 務 局	運営に携わっておりますのでご報告をお願いします。
斧澤会長	事業概要と競技の内容についても説明をお願いします。
村野委員	<p>ボッチャ体験は、障がい者自立支援協議会と東京都障がい者スポーツセンターに勤務されていた方のご協力により実施した。ルールは、この会議室くらいのコートで、赤チームと青チームに分かれて最終的に白いボールのより近くにボールを投げられたチームが勝ちになる、車椅子の方もそうでない方も一緒に楽しめる競技。会場では、来場者が車椅子に乗って競技を楽しむことのほか、障がい者マークの説明など場内の展示等もあり、私たちは世界の国旗を描いて会場を応援する企画で参加したが、障がい者スポーツに親しむきっかけとして良い企画であったと感じる。</p>
事 務 局	当日は一般の方200名程がブースに参加していました。
松永委員	<p>障がい者スポーツ推進の観点から考えると、既存のスポーツ団体による障がい者スポーツへの取り組みや障がい者の受け入れを支援するのか、それとも新しく障がい者スポーツ団体設立を支援するのか、方向性が明確ではない。障がい者スポーツを推奨する上で、団体個別の活動に委ねるのではなく、意識づけや障がい者受け入れの機会を設けるなどの支援をする必要があると考える。</p>
斧澤会長	<p>他にご意見がございますか。（各委員意見なし）</p> <p>Q3については、ここまでとさせていただきます。冒頭に事務局より、家に閉じこもっている人にスポーツに参加して頂くかについて話がありました、今後も話をしていく課題と思います。</p> <p>それでは、Q4 民間施設が主催する教室について、ご意見、ご感想をお願いします。まず、事務局からお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事 務 局	前回資料の、3-2をご覧ください。(資料説明)
斧澤会長	委員の皆様よりご意見をお願いします。
大川委員	大人がスポーツスクールに通う場合、子どもを預けなければ時間が取れない場合があり負担になるので、託児施設があると参加しやすいと聞いたことがある。また、多くの教室があるのはニーズがあるということだが、子どもの場合、通えない子が出てくると可哀そうと感じる。
斧澤会長	自身も長年ボランティアで指導を行ってきたので、スポーツスクールの増加については考えさせられる場面もあります。 正高委員、学校側の立場ではどうお考えですか。
正高委員	部活動では教育的見地から指導するが、民間教室だと技術取得に傾倒しすぎて心配な場合もあるので、学校側としては意見できない部分だが注意深く見守っている。教育的な指導をしている教室もあるので、学校としては見極めていかなければいけない部分だと感じる。
山本副会長	ダンスは学校体育に導入されてから、授業についていく習い事の面から民間教室が増えてきたのではないかと考えるが、上手い下手が授業に反映されてしまうのか。
正高委員	数名が習いに行っていると把握している。昔は女子がダンス、男子が球技に分かれていたが、今はダンスを男女ともに選択しており、とても楽しそうに取り組んでいる姿が見られる。創作ダンスを作ったり、まとめる中核を担ってするのが教室で習っている生徒で、リーダーシップをとってくれる面でもありがたいと感じる。

発 言 者	発 言 内 容
村野委員	参考資料として、昨年の生涯学習フェスティバルで「放課後の子どもたちの過ごし方アンケート」を実施しており、全国平均ではなく、入間市の子どもの習い事をしている子どもの割合と種類のデータが掲載されている。
事 務 局	今、手元に用意がございます。後日、改めて参考資料としてご報告させていただきます。
小野委員	孫が水を苦手で、克服させるために水泳教室に通わせたが、5年間続けるうちに様々泳げるようになった。民間施設では施設面から年間を通して取り組めるメリットと、嫌いな種目でも親と一緒に始めてさせることも運動に取り組む原動力の一つになると感じる。自身でも民間施設を利用したことがあるが、年間を通して運動しようと思えば楽しめる環境があるのはよい。また、自身がソフトボールに参加する中で、プレーの失敗を非難するのではなく、周囲を元気づける言葉（ペップトーク）に効果があると感じるので、チームだけでなく広く浸透させるとスポーツ全体の雰囲気良くなると感じる。
櫻井委員	民間教室は施設が充実し指導力のある指導者が多いが、競争に走る傾向があるのでできない子は数年で辞めてしまう。一方で、ボランティアで教えている団体は、参加者を広く受け入れるので、両団体が共存できるものだと考える。
松永委員	学校体育でダンスを取り入れる目的と効果は。
正高委員	自己表現につながることを目的としており、以前に比べると男女関係なく授業による効果が出ていると感じる。
松永委員	全身運動で体幹にも効果がありそうなので、他のスポーツ種目を行う我々も教えてもらってダンスをしてみても良いのかもしれないと感じた。

発 言 者	発 言 内 容
斧澤会長	<p>Q4 についても結論をまとめることは難しく、ご意見が出揃ったので次の議題に移らせて頂きます。次に、Q5 市民意識調査結果より、スポーツ実施率向上のため、運動・スポーツをしていない方を活動に結び付けるには、どのような教室・講座が効果的だと思いますか。</p>
大川委員	<p>何かスポーツを楽しんでいると感じて行う取り組みが必要と思うが、他市では万歩計を貸し出して、歩数に応じて景品を貰える取組みがあると聞いた。</p>
齋藤委員	<p>入間市でもやっている取り組みである。（※コバトンマイレージ）</p>
富田委員	<p>その万歩計を持っている。体育館1階に対応端末が設置されている。 健康体力測定があるときに、健康福祉課（※現在の地域保健課）から測定後に住所と名前を書いて登録すれば利用開始できる。</p>
大川委員	<p>富田委員は、普段から運動されているか。</p>
富田委員	<p>運動している。</p>
大川委員	<p>運動している方には情報が来るが、運動していない方にはより積極的に情報発信してお知らせすることが必要なのではないか。</p>
事 務 局	<p>万歩計の話について、補足説明させていただきます。現在の地域保健課が実施する県のコバトンマイレージ事業として、市でスポーツ大会等の事業開催した際にブースを設け、登録希望者に万歩計を配っていますが、単独での配布は行っていません。</p>
山本副会長	<p>県が主体になって事業展開しているのは知ってたが、市で万歩計をもらって</p>

発 言 者	発 言 内 容
山本副会長	登録を行えることについては知らなかった。
斧澤会長	実際に万歩計があると運動習慣や意識づけがどう変わりましたか。
富田委員	自転車でゴミ捨てに行ってたのを歩いてみたり、些細なことでも一歩でも多く歩こうと思うようになった。
大川委員	この話のように、知らなかった情報を知る機会こそ意義があると思う。
斧澤会長	では、万歩計の話はここまでとして、運動していない方をいかに運動に参加してもらうかの取り組みについて、ご意見をお願いします。
小野委員	70歳以上で運動を始めようと思っても、体力的には厳しい。40代～50代の働き盛りの忙しい年代からいかに運動習慣をつけるか、忙しい人ができるような働きかけがあると良い。前に、障がい者を対象にした事業を実施したことがあるが、ダウン症などそれぞれの性質を理解していないと、参加の働きかけが難しいと感じた。
村野委員	乳幼児とその親御さんと外遊びする事業活動をしているが、参加者にスポーツをしている意識はあまり無いと考える。スポーツというとハードルが上がる気がするが、公園でバドミントン遊びをしているような場合もスポーツの一種と捉えること、スポーツのハードルを下げることで実施率向上のために大切。また、ゆるスポーツという新しいジャンルがあり、公園に撒いた靴下を左右合わせたり、寝袋に入ってラグビーをするいもむしラグビーなどの遊びのスポーツを推進している団体もあり、高齢者・子育て中の親・障がい者など誰でも取り組めるので注目されている。

発 言 者	発 言 内 容
山本副会長	<p>私も同感で、スポーツ・運動・遊びの区別なく小さい頃から親子で運動習慣をつけることで、体を動かすことの楽しみを知ると、スポーツにつながってくると考える。小さい頃から運動に親しんでいると、障がい者とも垣根を越えて、障がい者スポーツとの区別なく一緒に取組めることが大切と考える。入間市としては、トップアスリート育成よりも、スポーツの裾野を広げる取組みの方が、スポーツ実施率の向上につながるのではないかと感じる。</p>
村野委員	<p>遊びがスポーツにつながる分野については研究が進んでおり、元陸上競技の為末選手が著書で「遊びはスポーツの基本」と記しており、走る、転がる、ひっくり返るみたいな感覚がすべて身につくので、遊びに力を入れていったら良いと感じる。</p>
阿佐委員	<p>遊びを通してスポーツ活動の底辺を広げることが、頂点を高くすることにつながるのではないか。</p>
斧澤会長	<p>毎年1月に西武地区で野球団体が中心になりスポーツフェスティバルを実施しており、メディシンボールを投げたり、親子で2人3脚をするなど、運動をするきっかけをつくれば、参加する方はいると感じます。</p>
木村委員	<p>スポーツに取り組む上で社会人は仕事がネックになり、例えば開始時間が19時からでも行くことが難しく、仕事のことで運動を諦めたり、年齢を重ねるごとに足が遠のいてしまう。11月に生涯スポーツフェアを開催したときに、親子連れの参加者が多かったので、家族で楽しめるようなスポーツや、年2、3回定期的に楽しめる場を設けると、子どもの将来的なスポーツクラブへの加入や家族での取組みになると感じた。また、森林公園のような健康遊具のある公園施設が身近にあると、スポーツではなくても遊びながら親子で運動できると考える。</p>

発 言 者	発 言 内 容
荒井委員	<p>40代～50代の人にとっては、時間・場所・道具・メンバーなどに縛りをなるべく減らした運動活動だと行いやすい。スマホを使って、通勤電車の中でできるちょっとした運動や、日常的な中で一人でもできる、2人、3人で集まるとな楽しい運動があると良い。会社の昼休みでストレッチや立って歩くアナウンスをするなどが増えてきている。講座かイベントか形態はわからないが、親子で楽しめる運動が各団体やサークルで種目にこだわらずにできると良いと思う。</p>
村野委員	<p>毎週水曜日に、日雑木林の中で遊ぶ活動を武道館の裏手の林で9時半から2時半まで行っている。そこにあるもので遊ぶをコンセプトに、木、落ち葉、坂を使って走り回った子供たちは体幹がしっかりしてきている。どなたでもご参加ください。彩の森で行っているプレイパークでも遊び道具は用意せず、落ち葉プールや段ボールで滑ったり、遊びを通したいろいろな動きが展開されている。次回2月開催なので、どなたでもご参加ください。</p>
山本副会長	<p>事業の広報方法は。</p>
事 務 局	<p>村野委員の活動は、市とは関係の無い、任意の活動と思いますが、どのような情報発信をしていますか。</p>
村野委員	<p>親子の集まる広場でのポスター掲示や、フェイスブックを活用している。</p>
松永委員	<p>地区体育館の運営委員会で体育館の開放をしていた。</p> <p>入間には5館地区体育施設があり、黒須地区体育館でも午前と夜間は利用者が多いが午後は空き枠が多いので、地区の取り組みなどで有効活用していただけたらと思う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事 務 局	<p>指定管理者である入間市振興公社の取り組みで、施設開放事業を実施しています。子ども達が自由に来て、ミニテニスなどの道具を貸し出して遊んでもらう取り組みですが、参加者がまだ多くないので、利用者増に向けた取り組みを今後推進したいと考えています。</p>
斧澤会長	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>次に、Q6 その他、市内のスポーツ・レクリエーション事業について、ご意見、ご感想をお聞かせください。</p>
富田委員	<p>宮寺体育協会で一昨年までは高齢者向けにゲートボール大会を開催していたが、参加チームが減少し、開催されないこととなった。競技者自体は、憩いの家前広場で遊んでいるが大会形式になると宮寺では参加者確保が難しい。高齢になると車で遠くに行くこと自体が困難になるので、地区で何か参加できる事業を行えるかが大切と考える。</p>
斧澤会長	<p>以前に市の子供会で、休みの日のゴルフ場を借りて子ども達に開放する事業を行い、120人が参加したことがある。何もなくても、子供たちが走り回ってのびのび遊べることも一つのレクリエーションであると感じた。</p>
小野委員	<p>黒須周辺の台風19号被害と対応状況と復旧見通しについてはどうか。</p>
事 務 局	<p>次第5 報告事項にて報告いたします。</p>
斧澤会長	<p>次に議題(2)その他について、事務局からありますか。</p>
事 務 局	<p>前のご審議頂いた、スポーツ・レクリエーション団体アンケートは、現時点では約240団体から回収しており、12月25日が提出締め切りのため、次</p>

発 言 者	発 言 内 容
事 務 局	回の第4回審議会で結果報告させて頂く予定です。
斧澤会長	次に、次第5 報告事項について事務局からお願いします。 (1) 令和元年度スポーツ・レクリエーション事業報告及び事業予定について事務局より報告をお願いします。
事 務 局	(事務局より報告)
斧澤会長	次に、(2) 市民体育館外構改修工事概要について事務局より報告をお願いします。
事 務 局	(事務局より報告)
斧澤会長	次に、(3) その他 について事務局より報告をお願いします。
事 務 局	(事務局より報告)
斧澤会長	※パラリンピック聖火リレーについて、台風19号被害と復旧状況について
斧澤会長	次に次第6 その他について事務局からありますか。
各委員	ありません。
斧澤会長	以上で、本日用意されました議題と報告事項は終了いたしましたので、これで議長の座を降ろさせていただきます。委員の皆様のご協力、有難うございました。
司 会	斧澤会長、議事進行を有難うございました。

発 言 者	発 言 内 容
司 会	<p>そして、委員の皆様、本日は大変有難うございました。</p> <p>それでは、最後に山本副会長から閉会のご挨拶をお願いいたします。</p>
山本副会長	(閉会のあいさつ)

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 2 年 1 月 10 日

議 長 の 署 名

斎 澤 靖 夫

議長が指名した者の署名

大 川 順 子